

育つ季節

きくのはなつうしん
園長 川名 マミ
令和5年3月号

教科書のない教育といわれるのが幼児教育です。
幼稚園は学校基準法という法律の第1条に記載されている学校です。
学校と聞くと教科があり教科書に沿った教育がおこなわれるというイメージになりがちですが、教科書のない教育が幼稚園での教育なのです。

子どもは特に幼い子ども達は興味関心のある事柄しか、自らかかわらないのが常です。
興味のある事柄が遊びであるならば、あそびを通じて学んでいるのです。
あそびは学びといわれる由縁です。

あそんでばかりいて、いいのかな？と大人目線でおもうかもしれませんが
「あそぶ」ことこそが子どもにとって一番大事なことで遊びを通じて
体験と経験をしてそのことから学び、学んだことは将来への糧となっていきます。

砂場で山をつくってトンネルを掘っている

そのことから➡

- ・砂を固めないと崩れることや掘るスピードの手加減トンネルの大きさを調節する
- ・両側から掘るならばお互いの角度を調整する
- ・それを伝え合う言葉はどんな風に言うのか



色水を作る

そのことから➡

- ・なんできれいな色が作れるのか？
- ・何色と何色を混ぜたら何色になるのか？
- ・どれくらいの量を混ぜたらどんな濃さになるのか



泥団子をピカピカになるまで磨き上げている

そのことから➡

- ・園庭のどこにある土をつかったら固い団子ができるか
- ・サラ粉はどうやって集めるか
- ・ピカピカに磨く素材は何がいいのか
- ・それらのことは誰に聞くのが良いのか
- ・泥団子名人はどのクラスにいるのか



ただ遊んでいるといえますか？

言葉・人間関係・自然・科学

いろいろな要素が含まれています。まさにあそびから学ぶのです。
それが見えない力となって、今後の人間形成の基盤となっていきます。
たくさん遊んで！いっぱい学んで！菊の花の子どもたちは
豊かな環境からもらった見えない力を蓄えて、次の学年と進みます。

それぞれの子どもたちの冬芽が膨らむ春！
それぞれの育ちを応援します！

